

シエアラウンド

～わかちあい～

第23号
2020.2

あおぞら食堂へ参加するには??

あおぞら食堂を利用したい!

事前予約が必要です!

携帯電話のショートメールや、QRコードからLINEでお申し込みください。
老若男女は問いません。みんなで楽しく食事をしたい方は誰でもOKです。
保育園児・幼稚園児は保護者同伴でお願いします。石橋小学校の学童保育をご利用の方は、保育室までお迎えに行きます(※発行日時点。保護者の承諾が必要です)。

●あおぞら食堂利用申し込み先
LINE@461gcduf



あおぞら食堂のお手伝いをしたい!

ボランティアを募集しています。
食事の準備・片付けや、活動資金・食材提供、子どもと遊んだり、宿題を見てあげたり…、一緒に食事をしながら楽しい場所づくりのお手伝いをしてみませんか。
あなたのできることをできる時に、一緒に活動していきましょう。
興味をお持ちの方は、ぜひ下記ホームページから携帯電話のショートメールやLINEでお問い合わせください。

●ボランティア希望者問合せ先
あおぞら食堂ホームページ
<http://www.あおぞら食堂.club/index.html>



特集：笑顔が増える場所づくり

NPO法人 ポポの樹 学習支援室 ドリーム



クリスマス会で手品を楽しむ生徒たち

取材を終えて…

私は、学習支援室ドリーム取材しました。まず感じたのは、ボランティアの方が我が子と同じように支援室に来ている生徒たちと接していることです。生徒たちは、無駄話もせず真剣に学習していて、ここに来ている時間を大切にしようという雰囲気が、見学している私たちにも伝わってきました。この支援室のような取組が活発になっていくことで、少しでも多くの子どもたちが、高校進学に向けた学びのチャンスを得られたらいいと感じました。

地域の方が食材を寄付してくれているとのこと、このような活動の輪も広がっていくといいと思います。



スノードーム作りイベント

こども食堂

NPO法人 あおぞら食堂

編集後記

飯野文夫／萩原敏美／九鬼眞澄／八木橋祐香子／松嶋淑恵

今回の特集に興味をもってくださった方、ボランティアの一員となりトライしてみませんか。また、お子さんと一緒に参加してみませんか。
何か!するきっかけづくりになっていただけたらうれしい限りです。

1月12日、令和2年下野市成人式が行われ、華やかな振袖や羽織袴、真新しいスーツに身を包んだ新成人たちに笑顔があふれていました。たくさんの経験を経て、導かれる立場から導く立場へと成長し大人になってゆく。成長過程の上での出会いや暖かなつながりは、なくてはならないもの。人は支えあいながら生きていくのだと強く実感します。周りの人への感謝の気持ちを大切に過ごしていきたいと思います。

企画・編集

下野市男女共同参画
情報紙編集委員会

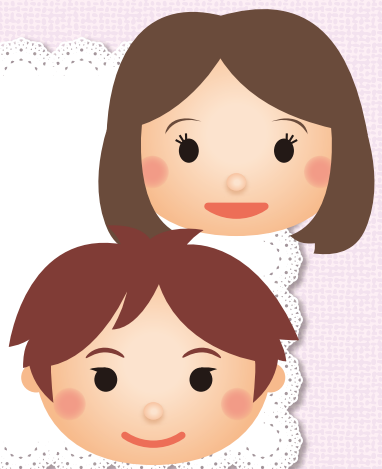
発行

下野市 総合政策部 市民協働推進課
〒329-0492 栃木県下野市笹原26番地
TEL:0285-32-8887
FAX:0285-32-8606
E-mail:shiminkyoudousuishin@city.shimotsuke.lg.jp



市内には、様々な分野で活動するNPO(非営利団体)があります。NPOは、収益ではなくボランティア等により社会に貢献することを目的としています。

今回は、子どもに関連する社会問題の解決のために市内で活動しているNPO法人の取組をご紹介します。



下野市 学習支援室ドリーム

NPO法人
ポポの樹

下野市では学習支援室ドリームを開設し、家庭の経済的な事情等により学習塾に通うことができない中学生を対象に高校進学に向けた学習支援や助言を行い、学習習慣・生活習慣の確立と学習意欲の向上を図っています。
支援室は、市から委託を受けたNPO法人 ポポの樹が運営しています。

開室状況

毎週水曜の夕方と、土曜の日に開室しています。
学習指導は、理事長と元教員5名が担当。



生徒の声

- 楽しく通っています!
- 少人数の教室なので、先生とはとても話やすく、質問しても分かりやすく説明してもらえます。



学習支援



教室の様子

一人ひとりのテーブルで個別学習する部屋と、授業を行う教室に分けられています。

あたたかい気遣いを実感できる場所に…

ひとり親世帯の利用者が多く、受験を前にした生徒はちょうど思春期。
お母さん達が疲れていると感じることが多いので、送迎の際に少しでもコミュニケーションがとれれば、わずかなひとときでもホッと息抜きできる時間になるかと考えています。



理事長
ジヴニー かおりさん

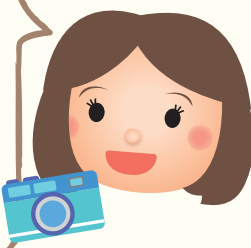
食育

食育の一環として、一食100円で食事を提供。利用するかは生徒の自由で、予約制です。
配膳はセルフサービス。栄養士・調理師の協力もあり、栄養バランスと彩りも良く、生徒たちにも好評です。



地域の支援者の方々とあたたかな“つながり”

学習支援室ドリームでは、高校合格という同じ目標を目指して、市内の子どもたちが仲良く集中して学習していました。
食育のために、フードバンクや社会福祉協議会、ご近所の方々から食材が提供されています。クリスマス会や生徒の誕生日パーティーを企画して、家庭的な美味しい食事やあたたかい気遣い、愛情を実感できるような場所づくりを目指しているとのことでした。
また、地域に支えられていることを生徒に感じてもらえるよう、NPO法人 ポポの樹では食材提供やイベント時の協力者を募っています。活動に賛同して下さる方がいらっしゃいましたら、学習支援充実のため、ぜひご協力をお願いします、とのことでした。



● 学習支援室ドリームに関するお問い合わせは、下野市役所社会福祉課(TEL:32-8901)までお願いします。

あおぞら食堂

NPO法人
あおぞら食堂

社会環境や働き方等の変化により、ひとりで食事をする『孤食』が増えてきている中、あおぞら食堂は一般的な「こども食堂」とは少し違う目線で活動しています。共働きで子どもと接する時間を持ってない方、核家族化により一人で食事をしている子どもや高齢の方など、どなたでも無料で利用することができ、食やレクリエーションを通じて交流できる場を提供することで、『孤食』の解消を目指しています。
月2回の平日夜の食堂と、月1回の土日のイベントを開催しています。

立ち上げのきっかけ

子どもを授かる前、これからの人生設計を考えたときに、「子どもに関わる何かをしたい」と思ったのがきっかけです。
子どもを授かった後でも、その気持ちは強かったですね。下野市にこども食堂がないことを知って、料理が好きで調理師の資格も持っていたので、率直に「やりたい!」と思いました。私以外にも、こども食堂をやりたい、前から気になっていた、という方たちが協力してくれています。
現在は、石橋地区のゆうがおパークのみで開催していますが、今後は国分寺地区や南河内地区でも開催していきたいと考えています。



代表
永盛 真琴さん



活動の流れ

つくる!

食事の待つ間、利用者は子どもと一緒に遊んだり、ゆっくりお喋りすることができます



ボランティアの方たちが協力して料理します

いただきます!



盛付けはセルフサービスです

美味しいご飯を食べた後はお皿洗い!ボランティア募集中!



かたづけ!

利用者ママさん達にいきなりインタビュー!

今日はお友達と一緒にいらっしやっただけですか?

● ここで知り合いになりました。お話できてとても楽しいです。

参加のきっかけは?

- 普段子育てで忙しいのですが、近所の方がこのチラシを持ってきてくれたんです。こども食堂のことは、妊娠していた友達が動けなくなった時に他のこども食堂を使ったことがあると聞いて、以前から知っていました。
- 学童保育でチラシをもらいました。お迎えもあおぞら食堂にお願いしています。子どもにとっても、一人で食べるより友達が増えて良いと思いました。

利用した感想は?

- ゆっくり食事ができて、子どもは思いっきり体を動かして遊べるし、自分自身も癒されて、親子でおだやかな気持ちになれます。
- 自宅にあった野菜を持ってきました。食材として使ってもらえて、夕飯も自分で作らなくて済むので息抜きになり、うれしいです。
- ここに来る日は、子どもも朝からワクワクしています。



あおぞら食堂への参加方法は次のページへ!